

市民生活・都市活力部会における議論

○「生活保護制度に関する国と地方の協議」の状況等について

- ・札幌市長、事務方の報告

○ 要請内容等に関わって

- ・部会各市長で意見交換等
- ・ご発言ポイント

○静岡市長

「人間心理を無視した生活保護制度になっており、モラルハザードを起している。心理的な働きかけも含め、その他世帯に対する期限を定めた早期の就労支援が必要と考える。」

○福岡市長（山崎副市長）

「生活保護費が増加しており、生活支援戦略をスピード感を持ってやってほしい。国は年金制度の議論を避けているように感じる。国の考えがどこにあるのか、費用負担も含め国がグランドデザインを描いて、地方と協議してほしい。」

○札幌市長

「ケースワーカーだけの支援には限界がある。専門的な経験を蓄積しているNPO等の制度上の位置づけ、財政基盤を確立し、活用することが必要。」